(e)エディタ設定方法

- COBOL専用エディタを使いこなすために -



- 1. はじめに
- 2. マーカーとシーケンスの指定
- 3. 表示のカスタマイズ
- 4. キーワード補完
- 5. 構文テンプレート
- 6. 構文チェック

1. はじめに

本説明書では、COBOL2002専用エディタの起動方法を理解しているものとして説明を進めます。

使用する例題プログラムは入門編で用いたプログラムです。

ここでは、COBOL言語でコーディングするときに特に便利な機能について説明します。更に詳細を知りたい場合は、マニュアル「COBOL2002操作ガイド」を参照ください。



マーカーは、COBOLプログラムのコーディングの際に、インデンテーション を揃えるために使用します。

[手順1] エディタのメニューバーの「オプション(0)」をクリックし、プルダウンメ ニューの「カスタマイズ(C)」をクリックします。

🖹 COBOLIデ約 for COBOL2002 - [C:¥temp¥¥reidai1.
□ ファイルE) 編集E) 検索S) 構文Y オプション() ツール() ウィントウ(W)
<u>√µフ°(H)</u> <u>カスタマイス*(©)</u> (2)_ <u>₽</u> ×
□ 🖙 🖬 🚭 👗 🖻 💼 🕑 🔍の表示(S) ▶ 🔄 ±Ა テᲐ
+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++
IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID. reidai1.
カスタマイズ画面で
を選択します。
<u>አ</u> ታሪ የሚሰዱ የሚሰዱ የሚሰዱ የሚሰዱ የሚሰዱ የሚሰዱ የሚሰዱ የሚሰዱ
■ 日田形式正書法のマールビ
┌→連番号の設定
初期値(S): 100 増分値(N): 100
▼ 保存時にオプションを適用する(限): 一連番号を空白に置換 ▼
【保存時に不当な一連番号を知らせる(√)
- 見出し領域の設定
● 現在の日付に置換(型)
 ○ 指定された文字列と置換(I):
行指定の背景色分け表示を使用する(2)
開始キー(近): 終了キー(E):
OK キャンセル ヘルフ*(H)

[手順2]「COBOLソース」画面で必要な設定をします。 設定したら「OK」ボタンをクリックしてください。



3. 表示のカスタマイズ

表示を見易くするための設定です。

[手順1] エディタのメニューバーの「オプション(0)」をクリックし、プルダウ ンメニューの「カスタマイズ(C)」を選択します。「カスタマイズ」画面が出 たら、「色」または「画面フォント」タブをクリックします。



予約語等の色を設定するときに使います。	
 タア*の設定 タア*幅 (T): 8 カラム マ 空白に置換(型) ▼ 選択行に対するタフキによるインテット(E) 	

[手順2] 予約語(動詞やコメントや定数等)の色の指定を行います。



[ワンポイントアドバイス]

予約語が色分け表示されるので、コーディングの際にスペルミスをチェックすることが可能です。 見分けがつきやすい色を選ぶと一目でスペルミスがわかります。

[手順2] フォントの指定を行います。

「デフォルトのイメージが表示されます。



4. キーワード補完

本機能は語の綴りを忘れたとき、語の一部を指定してフルスペルに 補完する機能です。

[手順1] 例えばINSPECT文の「INS」までの綴りしか思い出せない場合、記述したい箇所に「INS」を入力し、「INS」の部分にカーソルを位置付けるかまたはリバース表示させます。

🖹 COBOLIन्दे⁄a for COBOL2002 - [C:¥temp¥¥re	idai1.cbl *]		
📑 ファイル(E) 編集(E) 検索(S) 構文(Y) オフ	ション(ロ) ツール	(Ɗ ウィンドウ₪	Ø
^ルフ°(<u>H</u>)			_ 8 ×
D 🖨 🖬 🎒 🌡 🖻 🖻 🝊 😗]	5		ר <u>ו</u> לז ב
▶ ▶ 計 計 🗘 🕸		📇	▝▙▋≖
	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	4 • • • • • • • • • •	5++++
001700 PROCEDURE DIVISION.			
001800			
001900 Mein-Sec SECTION.			
002000 PERFORM 初期処理.			
002100 <u>PERFORM</u> 比較処理.			
00220011 PEREORM 山-5hn I用			
ปรั้ง	行: 22	カラム: 15	挿入

[手順2] カーソルを位置付けて、あるいはリバース表示させた箇所で右クリ ックし、「キーワード補完″INS″」を選択します。



[手順3] キーワード補完の画面中の「INSPECT」を選択し、「貼り付け」をクリック します。



COBOLIT'7% for COBOL2002 - [C:#temp##re	idai1.cbl *]		
7ァイル(E) 編集(E) 検索(S) 構文(Y) わ	%ョン(_) ツール(_) ሳለኦኮካ 😡	
^ルフ°(<u>H</u>)			-8×
🗅 🚔 🖬 🎒 👗 🖻 🖻 🝊 😗]	5	•	נ ז נ ו ⊡
]▶ क़ क़ ऻ]Ө अ		🐯 🄁	, 📮 🎞
	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	+++++++5+	+++
001700 PROCEDURE DIVISION.			
001800			
001900 Mein-Sec SECTION.			
002000 PERFORM 初期処理.			
002100 PERFORM 比較処理.			
I INSPECT			
			<u> </u>
ν τ γ	行: 22	<u> </u>	挿入



本機能は文の書き方を知りたいとき、マニュアルを見なくても書き方を参照できる機能です。

[手順1] 例えばINSPECT文の書き方を知りたいとき、エディタ画面上の記述したい箇所にキーワード「INSPECT」を入力し、その一部にカーソルを位置付けるか、またはリバース表示させます。

皆 COBOLIデ約 for COBOL2002 - [C:¥temp¥¥re	idai1.cbl	*]		
📑 ファイル(E) 編集(E) 検索(S) 構文(Y) オフ	ション(0)	ツール①	<u> </u>	<u>N</u>)
^/レフ <u>°(H</u>)				_ 8 ×
🗋 🗅 🚅 🔚 🎒 👗 🖻 🖻 🖉 😗 月	<u>ا</u> لا			- i9 i9
▶ ⊫ ⊨ 🗰 🖾			🖏	
	+++++	+++++4+++	++++++	+5++++
001700 PROCEDURE DIVISION.				
001800				
001900 Mein-Sec SECTION.				
002000 PERFORM 初期処理.				
002100 PERFORM 比較処理.				
INSPECT				_
	47.00			
1 7 7	îτ: 22	$ \mathcal{D} $	74: 19	挿入 //

[手順2] カーソルを位置付けた箇所またはリバース表示させた箇所で右クリ ックし、「構文テンプレートの"INSPECT"」を選択します。

🖹 COBOLIデ約 for COBOL2002	- [C:¥temp¥¥reidai1.cbl *]	
📑 ファイル(E) 編集(E) 検索(G) 構文(Y) オブション(Q) ツール(D ሳሪኑካ∰
^/レフ [*] (<u>H</u>)		_ & ×
0 🛩 🖬 🎒 👗 🖻	🛍 ଓ ଏ 🛛 🔜	₹19 <u>±</u> 9
]▶ क़ क़ ॴ 🖾 🕸		🏭 🔁 🖾 🗖 🎞
	2 +++++++++ 3 +++++++++ 4	+++++
001700 PROCEDURE [DIVISION.	
001800*		
001900 Mein-Sec SE	CTION.	
002000 PERFORM	初期処理.	
002100 PERFORM	比較処理.	
INSPECT	∔าาท≣าทก(าา)	-
	9394X9 <u>(1</u> / 1F°=(C)	
構立ティッシュシーを招	<u>「</u> 貼り付け(P)	
144,2,777 D 1703548	削除(<u>D</u>)	1947 //
	/ 標識領域の指定(4)	
	見出し領域の置換し	
	備又アノアレート(B/ TINSPEC) とこれには第二(C) *TINSPECT*	
	T TY TO THIS CLAIM AND THE T	

[手順3]「構文テンプレート」画面が表示されます。

ここで、例えば書き方1(計数)をクリックすると、プレビュー画面 に使用方法が表示されます。

構文 構文 		上 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
↓ 検索する文字列(<u>N</u>) INSPECT	 下方向②	上方向④

[手順4] プレビュー画面へ使用方法が表示され、「記号削除貼り付け」をクリ ックすると記号が削除されて該当する箇所へ貼り付けられます。

文デンプルート 構文 ーー・INSPECT文	<u> </u>	貼り付け他
 書き方2(置換) 書き方2(置換) 書き方3(計数と置換) 書き方4(変換) EL-INVOKE文 MERGE文 MOVE文 MULTIPLY文 OPENEX 	0L2002	記号削除貼り付け(E) キャンセル ヘルフ°(H)
INSPECT 一意名1 TALLYING TALLYING指定	COBOL85	
TALLYING指定: {一意名2 FOR {{CHARACTERS [AFTER-BEFORE指定] } { ALL {{一意名3 定数1 } [AFTER-BEFORE指定] } ···· } { LEADING {{一意名3 定数1 } [AFTER-BEFORE指定] } ···· } } ···· } ··· AFTER-BEFORE指定:		
✓ 検索する文字列(№) INSPECT		下方向② 上方向⑧
		1

「記号削除貼り付け」の結果を以下に示します。「張り付け」をクリックすると記号も 一緒に貼り付けられてしまいます。なお、手順4の画面に表示されている構文を直 接書き換えることもできます。書き換えが完了したら、「張り付け」をクリックします。



6. 構文チェック

構文チェック機能は、エディタ画面でプログラム編集中に、文法チ ェックを行う機能です。

[手順1] エディタのメニューバーの「構文(Y)」をクリックし、プルダウンメ ニューの「構文チェック(S)」を選択します。

🛃 COBOLIデね for COBOL2002 - [C:¥temp¥¥reidai1.cbl *]]		
📑 ファイル(E) 編集(E) 検索(S)	構文(Y) オプション(Q)	ツール① ウィントウѠ	^ルフ°(<u>H</u>)	_ & ×
	構文チェック(S) 構文チェックを中止(C) 構文チェックオフ [®] ション(Q)。	F5 Ctrl+F5	5 I I II ■ I II	JB 3 <u>8</u>
002300 STOP RUN	構文テンプレート(B) キーワート*補完(E) ユーザキーワート*補完(U).	Ctrl+B Ctrl+E Ctrl+K		·6 ····
002500 初期処理 SECT 002600 ACCEPT YY 002700*	ION. YMMDD FROM DA	TE.		
002800 比較処理 SECT 002900 IF 月 = 003000 THEN	ION. 9			
003100 MOVE 'S	eptember!!' TO	DATA2		
003300 END-IF.	iot september::	TO DATAZ		
003600 出力処理 SECT 003700 DISPLAY D 003800 003900	ION. MATAO.			_
【▲】 COBOL ソースの構文チェック	行: 1	7 カラム: 32	挿入	<u>)</u> 変更

構文チェック結果がCOBOLエディタ画面の下に表示されます。 エラーがある場合は、通常のコンパイルと同様にエラーメッセージが表示 され、エラーメッセージ部分をダブルクリックすると、エラーの箇所にカ ーソルが位置付きます。

📴 COBOLIデタ for COBOL2002 - 構文チェック結果	×
ファイル(E) 編集(E) 検索(S) 構文(Y) オフジョン(Q) ツール(T) ウィントウ(W) ヘルフ°(H)	
D 😂 🖬 🥌 X 🖻 🖻 🖉 😗 ស 💽 💽 🛃 🛃 🐼	
]♣₽₽]@@	
C:¥temp¥sample01¥reidai1¥reidai1.cbl	×
	
┃ 002500 約7期処理 SECTION.	
002600 ACCEPT YYYMMDD FROM DATE.	
002700M 002200	
$1002000 \text$	
003000 THEN	
003100 MOVE 'September!!' TO DATA2	
003200 ELSE	
003300 MOVE 'Not September!!' TO DATA2	
U 003400 END-1F.	•I
	×
'C:¥temp¥sample01¥reidai1¥reidai1.cbl'を構文チェック中	
"C:¥temp¥sample01¥reidai1¥reidai1.CBL", line 26: KCCC3015C-S "	
YYYMMDD"は未定義です。	
「個、+フーフンアタ発生しました。	•
レディ 行: 4 加ラム: 1 挿入 書禁	